■ 明星大学の教員養成の目標

明星大学の教育目標は、「生涯にわたり自律的に学び続け、みなと協働して幸福を生み出していく人の育成」である。この目標を受け、「磨きあい高めあう熱意ある教師の育成」を教員養成の目標としている。

本学は、設立母体である学校法人明星学苑の教育方針に基づき、「人格接触による手塩にかける教育」「凝念を通じて心の力を鍛える教育」「実践躬行の体験教育」を行ってきた。常に教育者と学習者が「共生」し、互いに成長していく教育を展開している。

教職課程の人材育成は、教育学の理論と教育実践との融合を図り、広く豊かな教養・専門的知識と技能の習得を意識している。教育現場から求められる「人としての豊かさ」を持ち、児童・生徒と共に学び続ける姿勢を涵養し、「専門的知識と技能を備えた、自立する市民としての幅広い教養を備えた教員」の養成が、本学の教員養成の理念である。

ここに示した目標及び理念を視野に入れ、以下のような教育を実践している。

- a、現代社会に生きるものとしての必要不可欠な基礎的知識と技能の修得
- b、心と身体の健康管理の教育
- c、幅広い教養を身につけた自立する市民の育成
- d、生涯に亘る学習意欲の獲得と、自己の歴史を綴ることができる教育

これらは、教職及び教科に関する科目だけでなく、全学共通科目、学部共通科目、学科等科目、全学共通キャリア形成科目の修得を通して行われる。

上記の目標は、本学の通信課程の教員養成においても同様である。通信課程では、通信教育という手段を通して、経済的・地域的諸条件にとらわれず、教職への熱意ある人たちに対し、教員養成の機会を提供する。